

D-1524

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平4-20857

⑬Int.Cl.⁵

B 60 R 21/24

識別記号

府内整理番号

7149-3D

⑭公開 平成4年(1992)2月21日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮考案の名称 エアバッグ装置

⑯実願 平2-62342

⑰出願 平2(1990)6月13日

⑱考案者 鈴木 英之 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地 株式会社東海
理化電機製作所内

⑲出願人 株式会社東海理化電機 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地
製作所

⑳代理人 弁理士 中島 淳 外2名

㉑実用新案登録請求の範囲

バッグにインフレータが連通されて車両急減速時にインフレータの作動で圧縮ガスによつてバッグが膨張されるエアバッグ装置であつて、バッグの内外が連通されバッグ膨張後の収縮によつてエネルギーを吸収するためのペントホールと、前記バッグ内方に設けられバッグの内方空間を前記ペントホールを含みかつインフレータと連通された第1の空間と前記ペントホールを含まない第2の空間とに仕切る仕切部材と、仕切部材に設けられ圧縮ガスの前記第2の空間から第1の空間への流れ

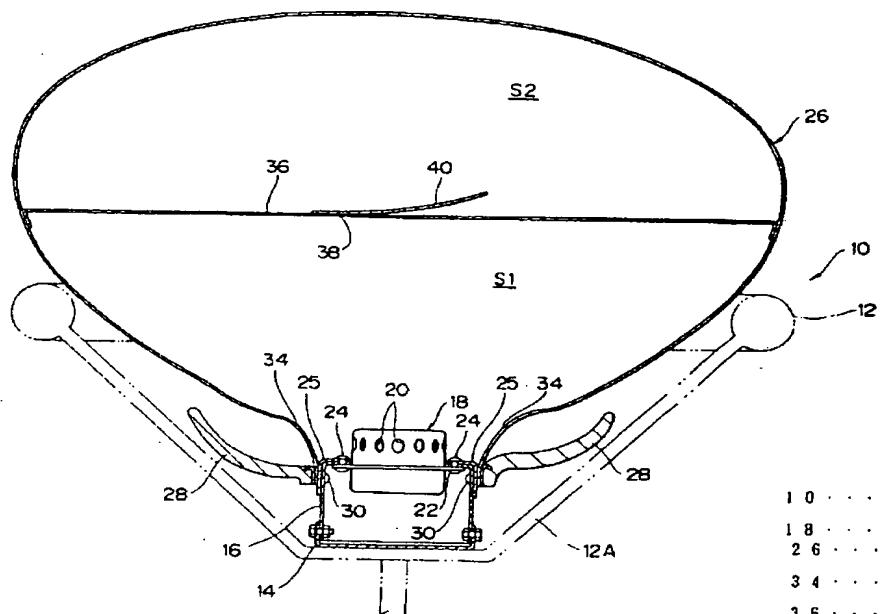
を制限する弁と、を有するエアバッグ装置。

図面の簡単な説明

第1図は本実施例に係るエアバッグの作動状態を示す断面図、第2図はエアバッグの収容状態を示す断面図、第3図は最初の急減速状態のエネルギー吸収後のバッグの状態を示す断面図である。

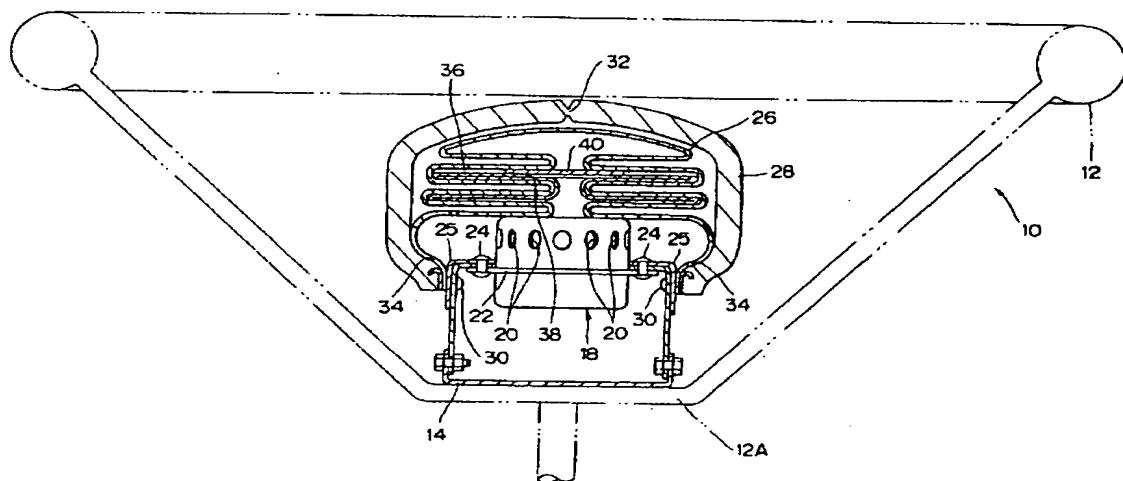
10……エアバッグ装置、18……インフレータ、26……バッグ、34……ペントホール、36……仕切部材、38……貫通孔、40……弁、S1……第1の空間、S2……第2の空間。

第 1 図



1 0 . . . エアバッグ装置、
1 8 . . . インフレータ、
2 6 . . . バッグ、
3 4 . . . ベントホール、
3 6 . . . 仕切部材、
3 8 . . . 真通孔、
4 0 . . . 犁、
S 1 . . . 第 1 の空間、
S 2 . . . 第 2 の空間。

第 2 図



第 3 図

